

氏名	半田 智久 HANDA Motohisa
所属 職名	教育開発センター 教授
学位	文学修士/Master of Arts
専門分野	心理学/Psychology、自由学術/Liberal Arts
URL	
E-mail	hanada.motohisa@ocha.ac.jp

### 研究者キーワード / Keywords

構想  
知能環境  
想像  
リベラルアーツ  
感性

Kohsouh  
intelligence ambient  
imagination  
liberal arts  
Kansei(sensibility)

### 主要業績

半田智久『成績評価の厳正化とGPA活用の深化』 地域科学研究会・高等教育情報センター, 2011.

半田智久「GPA制度に関する国際調査研究」 高等教育研究, 14, 2011.

半田智久「学修成績案内情報ネットワークシステム(alagin)の概要」 高等教育と学生支援, 1, 71-80, 2010.

### 研究内容 / Research Pursuits

学問の先端領域では知性が眩しく輝いています。その輝きが増すほどに、他方ではわたしたち自身や社会、そして未来に健やかさを実感できる感性の豊かさが一層求められています。創造の導きは知性と感性の行き交いに織りあがる表象にあるとみられるからでしょう。その表象をつくる力として、ある哲学者は2世紀も前に構想力に着目しました。とはいえ、その力に対する研究はまだまだ十分とはいえ、よく語られるわりにはわかっていません。そこで、その構想が行き交う絶好のフィールドで、その正体を捉えるべく採集や観察の研究活動を展開しています。

Understanding is a dazzling, eye-catching feature of advanced science. As this understanding starts to sparkle ever more brightly, we need a richer sensibility with which to appreciate the healthiness of ourselves, our society, and the future. This is pe

## ■ 教育内容 / Educational Pursuits

2010年度の授業、コンテンポラリー・リベラルアーツ（総合科目）、コンテンポラリー・リベラルアーツ2（総合科目）、知能環境論（LA科目）を実施した。心理学（認知・記憶・想像・知能・神経生理）関係や教育学（大学）、事業論などを主な領域とする

I had classes in Ochanomizu Univ. ("Contemporary Liberal Arts", "Contemporary Liberal Arts 2", "Intelligence Ambient, Yokohama City Univ. School of Medicine ("Medical Communication (Cognitive Psychology), Kuwasawa Design School ("Creativity and Intelligence.

## ■ 研究計画

人間の心的過程を追うなかで構想力（puissance and faculty of Kohsouh）に関心を持ち、その正体への接近を試みてきた。その結果、この概念がとくに英語との通用性をもたず、日本語に特有のものとして成立していること、それでいて現代日本語として語用豊かに使われている実態がつかめている。わたしたちが日常、自然に運用している概念には、こうした一定の言語文化に特殊性をもって息づいているものが少なからずある。その探求は特定の文化環境のもとでバナキュラーに生息するところの特性を考察していくうえで、重要なアプローチのひとつとなるだろう。今後、こうした概念のナチュラルヒストリーに光を照らし、あらたな知能環境の構想にむけて歩みを進めたく思っている。むろんそのためには学際はもちろん広く社会／文化諸領域の人びととの共同研究が欠かせない。

## ■ メッセージ

現代の高校生や生涯学習の場での学び人とも年に一度は授業を通して触れ合う機会をもち、現代の高等教育の実相の一端を普段とは違う角度から感じ取ろうとしている。そうした経験から実感していることは、自分がその時分であった頃よりも、いまの若者や若い社会人のほうが知的にずっと豊かであるということだ。だが、その豊饒さゆえに、そこに敏感な感性が響きすぎてしまって、素朴な強さよりも上滑りな巧みさにはしりすぎている観もある。だからこそ、現代の高等教育にはこの社会にありながらの超絶的な聖域性が必要になりつつあるように思う。もし大学がそれを満たし得ない社会的制約をもつようになってきているとすれば、別様の場が必要とされているのかもしれない。